

授業科目名 科目コード	地域活性化論 (Regional Vitalization) 392111-14-100					担当教員	栗井 英大 (クリイ ヒデヒロ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2 年次	開講期	後期
科目特性	地域志向科目／知識定着・確認型 AL／外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要

地方の衰退の流れに抗い、地域を活性化し、明るい未来を築くべく、全国各地で様々な人々が多様な活動を展開している。

本講義では、実際に地域を活性化させている具体的な事例をテーマ別に学ぶ。また、具体的な地域活性化事例を通し、その成功のポイントならびに実践活動の概念、実態、取り組み方を学ぶ。

自主的・自発的な取り組みを促す授業を通じて。地域の現状を分析する力、および地域活性化に向けた実践活動の基礎的な知識・ノウハウを身につける。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

1 地域社会に貢献する姿勢／2 職業人として通用する能力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

講義は、パワーポイントを活用し講義を行い、書き込み式の配付資料の空欄を学生自ら埋めていく方法で進める。また、講義冒頭では、記憶の再生、定着を促すために、前回講義の復習を行う。

正当な理由のない遅刻・途中退席は認めない。

日々の社会的な出来事も積極的に取り上げるほか、学生の意見を取り入れつつ、講義を進める。そのため、授業内容が変更となる場合がある。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

「地域経営」の受講を推奨する。

⑤ テキスト (教科書)

テキスト指定なし。授業開始時にレジュメを配布する。

⑥ 参考図書・指定図書

清丸恵三郎 (2016)『地方の未来が見える本』洋泉社

佐藤可士和・四国タオル工業組合 (2014)『今治タオル奇跡の復活』朝日新聞出版

その他、テーマに関連した参考文献や関連情報を必要に応じ紹介する。

⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安	
(i) 地域活性化事例を理解・説明することができる。	
(ii) 地域活性化手法を理解・説明することができる。	
(iii) 地域活性化手法を用い、地域活性化の具体策を構築することができる。	

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 地域活性化事例の理解・説明	地域活性化事例に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	地域活性化事例に関して、資料等に頼らず説明できる	地域活性化事例に関して、資料等を見ながら説明できる	地域活性化事例に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	地域活性化事例に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(ii) 地域活性化手法の理解・説明	地域活性化手法に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	地域活性化手法に関して、資料等に頼らず説明できる	地域活性化手法に関して、資料等を見ながら説明できる	地域活性化手法に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	地域活性化手法に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(iii) 地域活性化手法を用いた具体策の構築	地域活性化手法を用い、具体策を資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	地域活性化手法を用い、具体策を資料等に頼らず説明できる	地域活性化手法を用い、具体策を資料等を見ながら説明できる	地域活性化手法を用い、具体策を資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	地域活性化手法を用い、具体策を資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%			30%		10%		100%
(i) 地域活性化事例の理解・説明	20%			10%		4%		34%
(ii) 地域活性化手法の理解・説明	20%			10%		3%		33%

(iii) 地域活性化手法を用いた具体策の構築	20%			10%		3%		33%
フィードバックの方法	初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方、試験の方法等について、具体的に説明するので、出席すること。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
より多くの全国・県内の地域活性化事例を具体的に紹介する。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	講義ガイダンス 地域活性化とは？	講義の復習、地域活性化とは？ 地域活性化のためにできること	120 分
2	農業活性化①米・果物	講義の復習、天空米・奇跡のリンゴ を食べたくなる理由は？	120 分
3	農業活性化②ブランド化	講義の復習、ブランド化された商品 とその背景にあるストーリー	120 分
4	農村活性化	講義の復習 農協の事業内容	120 分
5	山村活性化	講義の復習、「ゼロ・ウェイスト運動」 とごみの分別	120 分
6	ものづくり活性化①繊維産業	講義の復習 高価格商品とその理由	120 分
7	ものづくり活性化②金属加工	講義の復習 伝統的工芸品	120 分
8	商店街活性化①再開発	講義の復習 商店街活性化の取り組み	120 分
9	商店街活性化②町並み再生	講義の復習 着地型観光	120 分
10	地域再生	講義の復習 空き家再生	120 分
11	観光活性化①芸術	講義の復習 観光活性化	120 分
12	◆観光活性化②温泉地	講義の復習 聖地巡礼	120 分
13	観光活性化③聖地巡礼	講義の復習 再生可能エネルギー	120 分

14	観光活性化④自然エネルギー	講義の復習 地域活性化のポイント	120 分
15	観光活性化⑤雪 講義のまとめ	講義の復習 期末試験に向けた準備学習	120 分

⑫ アクティブラーニングについて			
知識定着・確認型 AL を採用する。 ・ 毎回講義中に課題・問題を出すことにより、インプット型の講義に加えて、学生の知識のアウトプットも重視し、知識の定着を目指す。 ・ 前回講義中に受け付けた質問・感想、及び宿題の内容について、講義中にフィードバックを行うことで、理解度を高めていく。			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の概要			
平成 15（2003）年 3 月～平成 24（2012）年 6 月まで、(財)新潟経済社会リサーチセンターに在籍。研究員として、新潟県経済の調査分析および業界動向等の調査レポート作成業務に従事した。			
実務経験と授業科目との関連性			
県内外の地域活性化事例に触れ、各種レポート作成に携わった経験を生かし、地域を活性化した具体的な事例を分かりやすく紹介する。			